

# 文連ニュース

No. 22  
2026年1月20日

発行／飯塚文化連盟

〒820-0041 飯塚市飯塚 14-66  
TEL 080-5202-2624

## —新年を迎えて—



飯塚文化連盟会長 大分哲照

みなさま、ご清祥にて新しい年をお迎えのことと存じます。

今年も、飯塚文化連盟加盟団体のみなさま方が、それぞれの分野で存分に活動されますようお願いしております。また、文化連盟全般の活動・運営に関しましては、みなさま方のご協力がなければ進めて行けませんので、よろしくお願いいたします。

さて、昨年は、2015年に一市四町の飯塚文化協会各支部が飯塚文化連盟として合併し、10周年を迎えました。11月3日(祝)に、その記念式典を行いました。

合併にご尽力いただきました6名の方々に「飯塚文化連盟合併10周年特別文化功労賞」を贈らせて頂きました。また、この10年間継続して連盟に所属し、各団体でご活躍頂いた20名の方々に「文化功労賞」を贈らせて頂きました。

あわせて、午後にはコスモスコモン大ホールに於いて合計22団体の方々に参加していただき、記念ステージを開催いたしました。

特別事業の「飯塚新人音楽コンクール」は、44回を無事開催することができました。これまでボランティアで運営に参加してくださっていた団体のほか、新たに文連全体に呼びかけ、前回は上回る方々にご参加いただきました。

後期の「飯塚文化連盟合併10周年記念第11回飯塚総合文化祭」も、飯塚、颯田、庄内、筑穂、穂波の各会場において、催しの部、ステージの部、展示の部等、一年の活動の成果を発表していただきました。三年ぶりに筑穂会場でも盛況のうちに開催されたことは、大変喜ばしいことでした。

一昨年に続き、「10周年記念文連パーティー2025」も、160名を超える方々にご参加いただきました。残る事業は、「10周年記念誌」の発行ですが、3月発刊を目指して作業を進めているところです。

最後に一言お願いがございます。文連には、文化祭事業部、企画事業部、会員研修事業部、広報事業部の4事業部がございます。近年、各事業部に所属し、運営に携わる事務局員が不足しています。ほとんどが夜の会議となりますが、各団体で事務局員になっていただくようご推薦、お呼びかけ戴ければ幸いです。みなさま方のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

今年は、次の10年の第一歩という事になりますが、気持ちも新たに、飯塚文化連盟の事業を進めてゆきたいと考えております。

## ● 研修旅行 ～日田方面 日帰りコース～ 10月13日(祝・月)

今年度の研修旅行は、『近世日本の教育遺産群』の一つに挙げられる日田咸宜園跡を中心とした日田方面を訪ねた。咸宜園、日田豆田町散策そして昼食後は梨狩り、道の駅でのお買い物と充実した1日を過ごした。嘉穂観光のベテラン添乗員さんの名調子の中、参加者の笑顔あふれる旅であった。



## ● I LOVE 遠賀川 10月19日(日)

第38回I LOVE 遠賀川は、雨による心配もあったが無事に開催された。文連からも、一般参加者と共に参加し、美しく豊かな自然の象徴であり、永遠の資源でもある「遠賀川」について学び、考える良いきっかけとなった。清掃活動を行い、散乱したごみが回収され、遠賀川が本来の美しさを取り戻すことができた。



## ● 筑前の國いいづか街道まつり 10月26日(日)

10月26日(日)、曇り空のもと「筑前の國いいづか街道まつり」が開催された。商店街には多くの来場者が訪れ、文連おどり隊は昨年に引き続き、鳳玉会・聖世会・吉竜会・紀雀会の4団体が出演、あでやかな演舞で会場を盛り上げた。天候悪化の兆しにより、クライマックスの〈ON-DO いいづか〉総おどりは昨年に続き今年も中止となったが、祭りは終始活気に満ちたものとなった。



## 第44回飯塚新人音楽コンクール入賞者招待演奏会



2025年11月15日(土)14時開演  
イヅカコスモスコモン中ホール

♪出演者♪

第44回ピアノ部門	第1位	丸山 凜
第44回ピアノ部門	第2位	藤村星奈
第44回声楽部門	第2位	山岸裕梨



本選での各部門上位2名ずつを迎え開催される招待演奏会だが、残念ながら体調不良で声楽部門1位の渡邊美沙季さんの出場が叶わず、3名での演奏会となった。

3名の方々の個性あふれるすばらしい演奏に魅了され、心地よい感動に包まれた。声楽部門2位の山岸さんは40分に及ぶプログラムを披露され、バラエティにとんだ選曲とすばらしい歌声に惜しめない拍手が送られた。



# 飯塚文化連盟合併10周年記念事業



2025 年 11 月 3 日(月)イイヅカコスモスコモンに於いて、合併 10 周年の記念として記念式典並びに記念ステージが盛大に開催された。

飯塚文化連盟は、平成 27 年 4 月に旧飯塚文化協会飯塚、飯塚文化協会穎田、飯塚文化協会庄内、飯塚文化協会筑穂、飯塚文化協会穂波の 5 つの文化団体が合併した。

## 式典の部 表彰者紹介

### 【特別文化功労賞】

藤木 徹雄 (旧・飯塚文化協会飯塚 会長)  
 大上 泰治 (旧・飯塚文化協会飯塚 広報)  
 池田宏二郎 (旧・飯塚文化協会穎田 会長)  
 安藤すず子 (旧・飯塚文化協会穎田 副会長)  
 安藤 順一 (旧・飯塚文化協会庄内 会長)  
 間 秀美 (旧・飯塚文化協会穂波 事務局長)

### 【文化功労賞】

戸倉 志 織 (飯塚美術協会)  
 安武 英 剛 (穂波美術協会)  
 菅 竹 雨 (飯塚書道協会)  
 合澤 羊子 (女声合唱団飯塚マミーコール)  
 辻塚 弘行 (としとらーズ)  
 松熊 将 吾 (吟道優聖会)  
 瀧下 怜 那 (シモカワバレエスクール)  
 田中 秀 美 (スタジオ・ロサ・ルシーダ)  
 井上 瑞 希 (ダンススタジオCORAZON)  
 智賀 聖 世 (聖世会)  
 若柳 吉 竜 (吉竜会)  
 竹内 満 子 (寿筑会)  
 千草 玉 輝 (鳳玉会)  
 多田 俊 子 (茶道裏千家淡交会筑豊支部)  
 長谷川 和 子 (心和会)  
 和田 光 華 (大和池坊飯塚支部)  
 濱田 禮 悦 (飯塚華道連盟)  
 花田 侑 睦 (侑親流華親会)  
 福田 元 治 (俳句いいづか)  
 高橋 泰 子 (社会福祉法人茜会あかね園)



## 《ステージ発表の部 プログラム》

### ～第一幕～

#### 【出演団体】

- 1 木月靖謳会
- 2 飯塚白寿会
- 3 穂波謡曲同好会
- 4 吟道優聖会
- 5 聖鷹会
- 6 鳳玉会
- 7 九州昭武館

#### 【演目】

仕舞「高砂」  
連吟「猩々」  
連吟「鶴亀」  
連吟「菊慈童」  
静御前  
大江戸祭りばやし  
祥風の舞  
俺は無敵だ、サムライ無双!!



### ～第二幕～

#### 【出演団体】

- 8 音楽アート PEANUTS
- 9 フラ・オ・プア・メリア
- 10 フレンズ☆フラ
- 11 社会福祉法人茜会あかね園
- 12 マーラエフラススタジオ
- 13 ダンススタジオCORAZON

#### 【演目】

Young man (Y・M・C・A)  
クウ・レイ・プアケニケニ  
アロハ・エ・コモ・マイ  
アリカ  
音楽（おとらく）  
メイクユーフィールマイラブ  
見上げてごらん夜の星を  
Amen



### ～第三幕～

#### 【出演団体】

- 14 コールカメリアかいた
- 15 青の会
- 16 としとらーズ

#### 【演目】

いのちの歌  
HE IWAの鐘  
永遠のハーモニー  
三つのわらべうた  
ずいずいずっころばし～  
通りゃんせ～あんたがたどこさ  
混声合唱のための唱歌メドレー

- 17 合唱合同

混声合唱団コーロ・サンガ  
女声合唱団飯塚マミーコール  
混声合唱レヴール  
飯塚涼声会合唱団  
飯塚第九の会 (順不同)

紅葉～冬景色～雪～故郷



- 18 嘉穂高校・附属中学校吹奏楽部

ジャパニーズグラフィティ XIV  
炭坑節

### ～フィナーレ～

- 19 合唱合同

嘉穂高校・附属中学校吹奏楽部

いつかの里 いいづか



この日は雨で、天候にはめぐまれなかったが、ステージ上では多くの団体が日頃の成果を思う存分発揮し盛り上がった。嘉穂高校・附属中学校の吹奏楽部の炭坑節や、フィナーレの「いつかの里 いいづか」の合唱団との合同演奏では明るい未来を感じたひとときであった。

## 第11回 飯塚総合文化祭 — 10月18日(土)～11月30日(日)



〈広げよう・育もう・地域の力・文化の芽〉

第11回飯塚総合文化祭が、飯塚・穎田・庄内・筑穂・穂波の5会場で行われた。合併10周年を記念した事業も行われ、各会場ともに多くの来場者でにぎわった。後日、文化祭事業部会議が開かれ各会場の課題や改善点の確認、決算審議が行われる予定。

### ★飯塚会場—10月18日(土)～11月9日(日) 来場者数延べ 6,017名

- ・催しの部 (コスモスコモン・立岩交流センター) 茶道・俳句大会
- ・ステージの部 (コスモスコモン) 合唱・器楽・和太鼓・演劇・能楽・日舞・歌唱・洋舞など12団体
- ・展示の部 (コスモスコモン) 書道
- ・飯塚文化連盟合併10周年記念事業 (コスモスコモン) 記念式典・功労者表彰式・記念ステージ

イイヅカコスモスコモンと立岩交流センターを会場に、日頃の研鑽の成果を発表。大規模改修工事に伴い、従来コミュニティセンターで行われていた催しは立岩交流センターに移して実施。各団体の創意工夫により行事は滞りなく終了した。今後はさらなる盛り上がりを目指し、文連として広報・宣伝活動を強化する一方で各サークルの一層の活躍に期待が寄せられる。



劇団時の駅



マブア・フラ・スタジオ

### 令和7年度 第58回 飯塚市美術展(市展)

#### ◆◆書道部門◆◆

10月22日(水)～10月26日(日) コスモスコモン

#### ◆◆絵画・写真・彫塑工芸・デザイン部門◆◆

10月29日(水)～11月2日(日) コスモスコモン

市民の美術活動の育成と振興を図るため開催されている飯塚市美術展も58回を迎えた。本年度は一般公募104点、高校生2点、賛助会員16点(公募で規定の点数を取得した人)の出品があった。今後も地域の文化的土壌を踏まえて、出品作品の増加に向け、関係団体のご協力を期待したい。

### ★穎田会場—10月19日(日) 来場者数延べ 230名

- ・ステージの部—日舞・民踊・箏曲・洋舞・コーラス

今年の文化祭では、ジャズダンス団体「DanceNuts(ダンスナッツ)」が初参加した。若い世代による躍動感あふれるパフォーマンスは、普段なかなか目にする機会が少なく、来場者から大きな歓声と好評を集めた。また、吟詠道英峰会は合併前から毎年参加している団体であり、今回も例年どおりの参加となった。



コールカメリアかいた

### ★庄内会場 —11月1日(土)～11月2日(日) 来場者数延べ 613名



フレンズ☆フラ

- ・展示の部 —陶芸
- ・ステージの部—洋舞

庄内交流センターハーモニーで開催され、保育園児・小学生の作品を親子三代で見に来られた方が多く、陶芸・生け花のお持ち帰りが好評だった。ステージの部では、日頃の練習の成果を発揮し楽しく過ごし、多数の来場者で賑わい終了した。

★筑穂会場 — 11月30日(土) 来場者数延べ 約160名

- ・展示の部 — 書道・絵画
- ・ステージの部 — 和太鼓・書道吟・詩舞・器楽・コーラス

3年ぶりに開催された筑穂会場の文化祭は、あかね園の力強い和太鼓で華やかに開幕。筑フィルの木管五重奏、吟詠と書道が融合した書道吟、詩舞や合唱、マリンバ演奏、子どもたちのバトン演技など、多彩なプログラムが次々と披露され、会場は終始活気に包まれた。世代を超えた参加により、筑穂らしい一体感あふれる文化祭となった。



書道クラブ

★穂波会場 — 11月8日(土)～11月9日(日) 来場者数延べ 823名

- ・展示の部 — 書道・絵画・写真・華道  
(池坊飯塚橘支部、大和池坊)
- ・ステージの部 — 器楽・謡曲・日舞・洋舞・吟詠・カラオケ・和太鼓

展示の部では、保育所・保育園、とくのみ学園の展示をはじめ、華道部会よりロビーカウンターにミニアレンジフラワーの展示や、昨年に続き池坊飯塚橘支部による生け花体験が催され、親子連れなどで賑わいを見せた。

ステージの部では、川筋太鼓保存会の参加もあり、各団体とも日頃の練習の成果を遺憾なく発揮された。また、商工会女性部のご協力により、かしわめし、おでん、フランクフルト、お茶の販売があり、盛会のうちに文化祭を終えることができた。



川筋太鼓保存会

## 2025年 冬の宴「文連パーティー」

### 華やかに開幕 ～ 歴史と笑顔がつなぐひととき

\*\*\*\*\* 12月3日(水) パドゥル・コトキ

今年も「文連パーティー」は、大分哲照会長の挨拶で幕を開け、小出和典名誉会長が文連の歩みを紐解く言葉に耳を傾ける中、武井政一飯塚市長の力強い乾杯の声が祝宴のスタートを告げた。ステージでは剣詩舞・九州昭武館が晴れやかな祝舞を披露し、一瞬で会場を華やかな祝福の空気に包んだ。歓談の中では多彩なカラオケが次々と繰り広げられ、特に音楽アート PEANUTS の長野公宣さんが歌い上げた「イヨマンテの夜」が圧巻の歌声で大きな拍手を集めた。さらに恒例となった炭坑節や「ON-DO いいづか」での総踊りでは、笑顔と熱気の輪が広がり、参加者同士の親睦が一層深まった。終盤は桑原昭佳教育長の締めの乾杯、芳野英子副会長の閉会挨拶で宴は盛会のうちに幕を閉じ、多くの出席者が心に残る冬の宴を楽しんだ。



小出名誉会長の挨拶



九州昭舞館による祝いの舞



ON-DO いいづか 総踊り

## 祝・受賞！竹森正貢氏

### 令和7年度 文部科学大臣表彰(地域文化功労者表彰)

このたび「竹の森楽宴」の代表の竹森正貢氏が長きに渡る地域文化振興の功績が特に顕著であると認められ、地域文化功労者として文部科学大臣表彰を受け、去る令和7年11月19日(水)に京都府立府民ホール(アルティ)に於いて表彰式が行われた。

竹森氏は40年にわたり県内の高等学校で音楽教諭として教鞭をとり高い指導力を発揮、また昭和56年には九州・山口音楽協会の設立に携わり、以降44年間にわたり理事長・会長を務めている。新人音楽家の登竜門として日本屈指のクラシックコンクールである飯塚新人音楽コンクールでも、第1回の開催に尽力した1人でもあり、審査員の招聘、コンクール当日はボランティアとして参加するなど永年にわたり支えてきた。平成21年には地域の音楽関係8団体で構成される「竹の森楽宴」を設立、広範囲にわたり音楽文化の普及に努め各地域の音楽活動の中心的役割を果たし、地域文化の発展に多いに寄与されている。

#### 【竹森正貢氏より受賞についてのコメント】

新人音楽コンクールでは、第1回から携わらせてもらっています。皆様のおかげで日本を代表するコンクールとなりました。有名な審査員より、「小さな町の大きな宝」と言われ、日本でも公正なコンクールとして認められております。市民が支えるコンクールは、日本をはじめ世界にもないそうです。

私のこの度の賞は、文連をはじめ皆様方のご支援のおかげと感謝しております。ありがとうございました。



## お知らせ

### ◆ふくおかどまんなかフェスティバル(ふくおか県芸術文化祭)

2025年12月14日(日)桂川町住民センターで「古代と未来」をテーマに子供から大人まで楽しめる企画が用意された一日限りのイベントが開催された。筑豊の歴史や文化に出会える多彩なステージが行われた。

### ◆記念誌発行について

現在、飯塚文化連盟合併10周年記念誌の発行の準備を進めています。  
お手元に届くまで楽しみにお待ちください。

### ◆飯塚文化連盟事務室の引越しのお知らせ

イイズカコミュニティセンターの大規模改修工事が終了し、3/1に開館します。それに伴い、文連事務室もコミュニティセンター4階へ戻ります。2/24～2/27の間はコミュニティセンター1階事務室へお声掛けの上、許可を得て入室してください。

月曜日～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00

TEL 0948-22-3274 直通 080-5202-2624

文連に新しく入会希望されるサークルは、**2026年3月10日(火)までに**手続きを終えて下さい。入会には、当該部門の代表者と当該分野の運営委員からの計2名の推薦が必要です。

詳しくは、事務局まで《☎080-5202-2624》

## 〈文化連盟関係サークル活動紹介〉

### ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ これまでの活動

#### 【2025年】

- 8/31 筑豊音楽愛好会 pecpra e koala Duo Concert (コスモスコモン展示ホール)
- 9/20~21 福岡県立嘉穂高等学校・附属中学校吹奏楽部 第59回定期演奏会  
(コスモスコモン大ホール)
- 9/25~26 飯塚市民劇場 イッツ・フォーリーズ公演「洪水の前」 (コスモスコモン中ホール)
- 9/28 マーラエフラススタジオ マーラエフラススタジオホイケ (コスモスコモン中ホール)
- 10/ 4 混声合唱団コーロ・サンガ 混声合唱団コーロ・サンガ50周年記念演奏会  
~いのちをつなぐ~ (コスモスコモン大ホール)
- 11/ 8 木月靖謳会 木月達雄十七回忌追善 飯塚能の会 特別公演 (大濠公園能楽堂)
- 11/15 第44回飯塚新人音楽コンクール入賞者招待演奏会 (コスモスコモン中ホール)
- 11/23 筑豊フィルハーモニー管弦楽団 オーケストラ! in 飯塚 第11回定期演奏会  
(コスモスコモン大ホール)
- 11/26~27 飯塚市民劇場 文学座公演「華岡青洲の妻」 (コスモスコモン中ホール)
- 12/ 3 '25 文連パーティー (パドドゥ・ル・コトブキ)
- 12/14 混声合唱レヴール 混声合唱レヴール・クリスマスコンサート (コスモスコモン中ホール)
- 12/20~21 筑豊吹奏楽連盟第19回福岡県アンサンブルコンテスト (コスモスコモン大ホール)

### これからの活動 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶

#### 【2026年】

- 1/24~25 飯塚市民劇場 前進座公演「雨あがる」 (コスモスコモン中ホール)
- 3/29 キングレコード寺井安江音楽事務所 カラオケのど自慢大会 (コスモスコモン中ホール)
- 4/ 5 九州昭武館 舞と吟と唄のおさらい会 春の宴 (コスモスコモン中ホール)
- 4/12 令和8年度飯塚文化連盟総会 (コミュニティセンター学習室401)
- 5/3~5 第45回飯塚新人音楽コンクール予選 (コスモスコモン中・大ホール)
- 6/ 7 第45回飯塚新人音楽コンクール本選 (コスモスコモン中・大ホール)